

平成 28 年度

尾鷲市水道事業  
要覧

# 目 次

I. 水道事業の沿革	
1. 尾鷲市のあゆみ	1
2. 水道事業の沿革	1
II. 機 構	
1. 機構図	2
2. 職員配置状況	2
3. 事務分掌	2
III. 配水・給水	
1. 事業別取水内訳	3
2. 上水道月別配水量	3
3. 給水状況の推移	4
4. 口径別給水件数	5
5. 口径別使用量	6
6. 使用量別集計	7
7. 年度別件数/使用量/使用料金の推移	8～9
8. 水道料金表	10
9. 水道料金分析表	11
10. 料金徴収方法別件数	11
11. 検針員及び徴収員の人数	11
12. 漏水事故発生件数	12
13. 給水加入状況	13
14. 管路延長	14～16
IV. 財務状況	
1. 損益計算書	17
2. 貸借対照表	18～19
3. 資本的収支	20
4. 費用構成表【年度別】	21
5. 費用構成表	22
6. 企業債の概要	23
V. 経営分析	
1. 資産及び資本構成比率	24
2. 回転率	25
3. 損益に関する比率	26
4. その他比率	27
5. 経営指標一覧表	28～34
VI. 施設概要	
1. 水源施設数	35
2. 各施設ポンプ能力	36
3. 電力使用量	37
4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表	38
5. 施設住所	39
VII. 設備	
1. 上水道	40～46
2. 簡易水道	47～53

# I. 水道事業の沿革

## 1. 尾鷲市のあゆみ

尾鷲市は、三重県南部東紀州地域の中央に位置し、市域は東西21km、南北19kmで、総面積は192.71km<sup>2</sup>を有しています。

歴史的には、江戸時代に林業、漁業を中心に繁栄し、江戸や大阪へ回船が行き来することで、昭和初期まで栄えてきました。

戦後、昭和29年に尾鷲町、須賀利村、九鬼村、北輪内村、南輪内村が合併して、現在の尾鷲市が誕生し、その後、日本の経済成長とともに、水力発電所建設に始まり、国鉄紀勢本線の全面開通、尾鷲三田火力発電所の建設、国道42号の大改修などのビッグプロジェクトを経て、人口や経済が進展し、本市の基盤を形成しました。

しかし、その後のいわゆる「高度経済成長期」以降においては、尾鷲市から大都市に向かって若い人たちが流出し始め、過疎・高齢化による漁業、林業の後継者不足が進み、継続的に人口が減少しています。これまでも、さまざまな対策を行ってきましたが、過疎・少子高齢化に歯止めをかけることはできず、経済活動の縮小による企業の撤退や商店の閉鎖などが続いています。

尾鷲市には、美味しい魚や尾鷲ヒノキ、海洋深層水、熊野古道など海・山の資源や未開発の自然などの魅力がたくさんあります。この資源や魅力を活用し、市民と行政が力を合わせ、共に知恵を出し合い、また、外部（産学、来訪者など）の協力を得ることで、まちに活気を取り戻し、市民や訪れる人々が幸せや心の豊かさを得られるまちにすることが大切です。

このような中、本市においては、平成24年度より平成33年度を目標年度とした第6次尾鷲市総合計画を策定し、将来の都市像を「共に創り 未来につなぐ 誇れるまち おわせ」として、市民一人ひとりが、尾鷲市の資源・魅力に愛着や誇りを持ち、それらを活かしたまちづくりを行っていくことが、新たな尾鷲市の歴史を築いていく原動力となり、尾鷲が尾鷲らしく輝けるまち、ふるさととして誇れるまち、子や孫と共に暮せるまち、住みよいまちを、市民と行政が共に創り、次の世代につなげていくことを目標にまちづくりに取り組んでいます。

## 2. 水道事業の沿革

尾鷲市には、現在、上水道事業の他に、須賀利簡易水道事業、九鬼簡易水道事業、早田簡易水道事業、三木浦簡易水道事業、三木里簡易水道事業、賀田・古江簡易水道事業、曾根簡易水道事業、梶賀簡易水道事業の8簡易水道事業が存在しています。

上水道事業は、上水道認可を昭和35年3月に創設し、その後、国鉄紀勢本線の全線開通及び尾鷲第二水力発電所完成に伴い昭和36年12月、事業変更により計画給水人口20,000人、日最大給水量10,000m<sup>3</sup>/日となり、市勢の発展とともに需要水量も増加してきました。

昭和53年3月に第1次拡張事業認可により、馬越簡易水道、大曾根簡易水道、行野簡易水道を上水道に統合し、計画給水人口26,000人、日最大給水量20,000m<sup>3</sup>/日とし、送配水施設の整備を行ってきました。

その後、人口減少などに伴う水需要の低迷のため、計画の見直しをはかり、昭和57年3月に第1次拡張第1次変更事業認可、平成15年3月に第1次拡張第2次変更認可、平成25年3月に第1次拡張第3次変更事業届出書により、計画給水人口16,500人、日最大給水量14,500m<sup>3</sup>/日となっております。その後、平成27年11月には、上水道の水源となる第2号井が撤去となったため、第1次拡張第4次変更事業届出書により、廃止をいたしました。

今後は南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が予想されるなか、将来にわたって安全でおいしい水を安定供給するため、水道施設の老朽化や、地震災害対策を計画的に推進するとともに、良質な水道水源確保のための水質保全を積極的に推進する必要があります。

## Ⅱ．機構

### 1. 機構図



### 2. 職員配置状況

所属	事務	技師	計
部長	1		1
係長	1	1	2
総務係	2		2
工務係		2	2
送水場係	1	2	3
計	5	5	10

### 3. 事務分掌

#### 総務係

- (1) 業務の総合調整に関する事。
- (2) 職員の身分取扱に関する事。
- (3) 予算、決算に関する事。
- (4) 出納その他の会計事務に関する事。
- (5) 契約に関する事。
- (6) 資産の管理に関する事。(ただし貯蔵品の管理を除く。)
- (7) 広報宣伝に関する事。
- (8) 文書及び公印の管理に関する事。
- (9) 業務統計に関する事。
- (10) 量水器の点検に関する事。
- (11) 水道料金の調定及び徴収に関する事。
- (12) その他の係の所掌に属しない事。

#### 工務係

- (1) 水道施設の企画設計及び工事施行に関する事。
- (2) 水道施設の維持管理に関する事。(ただし送水場及び加圧施設を除く。)
- (3) 給水装置に関する事。
- (4) 貯蔵品の管理に関する事。
- (5) その他水道施設に関する事。

#### 送水場係

- (1) 水道用水の浄水、送水並びに供給に関する事。
- (2) 給水記録の整理報告に関する事。
- (3) 送水場及び加圧施設に関する事。
- (4) その他送水施設に関する事。

### Ⅲ. 配水・給水

#### 1. 事業別取水内訳

施設名	取水方法	施設数	公称能力 (m <sup>3</sup> /日)	取水量(m <sup>3</sup> )	1日平均 取水量(m <sup>3</sup> )
上水道	伏流水	2	10,000	2,372,793	6,501
	浅井戸	5	4,500	961,896	2,635
上水道 計		7	14,500	3,334,689	9,136
須賀利簡易水道	浅井戸	2	297	51,785	142
九鬼簡易水道	表流水	1	495	64,404	176
早田簡易水道	表流水	1	81	15,758	43
三木浦簡易水道	表流水	2	326	85,894	235
三木里簡易水道	伏流水	1	643	119,949	329
賀田・古江簡易水道	浅井戸	2	1,000	269,153	737
曾根簡易水道	表流水	1	84	39,901	109
梶賀簡易水道	表流水	1	152	24,686	68
簡易水道 計		11	3,078	671,530	1,839
合計		18	17,578	4,006,219	10,976

#### 2. 上水道月別配水量

年 月	区分	配水量 (m <sup>3</sup> )	1日平均 配水量(m <sup>3</sup> )	1日最大 配水量(m <sup>3</sup> )
平成 25 年度		3,626,356	9,935	12,318
平成 26 年度		3,606,488	9,881	12,302
平成 27 年度		3,357,148	9,173	13,372
平成 28 年 4 月		266,869	8,896	9,153
平成 28 年 5 月		288,193	9,297	10,692
平成 28 年 6 月		281,509	9,384	10,913
平成 28 年 7 月		267,689	8,635	10,728
平成 28 年 8 月		295,415	9,530	10,360
平成 28 年 9 月		308,436	10,281	10,969
平成 28 年 10 月		267,759	8,637	10,144
平成 28 年 11 月		274,252	9,142	9,495
平成 28 年 12 月		269,172	8,683	9,773
平成 29 年 1 月		292,988	9,451	10,693
平成 29 年 2 月		273,279	9,974	9,935
平成 29 年 3 月		249,128	8,036	10,174
平成 28 年度 計		3,334,689	9,136	10,969
増加量		-22,459	-37	-2,403
増加率(%)		-0.67%	-0.40%	-17.97

### 3. 給水状況の推移

#### (1)年度別

項目 \ 年度	23	24	25	26	27	28
計画給水人口(人)	27,900	27,900	26,900	26,900	26,900	26,900
行政区域内人口(人)	20,524	20,117	19,691	19,321	18,948	18,547
給水人口(人)	20,494	20,089	19,662	19,297	18,928	18,527
水道普及率(%)	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
給水戸数(戸)	10,009	9,915	9,832	9,764	9,645	9,566
給水件数(件)	11,168	11,090	10,954	10,847	10,721	10,488
配水量(千 $m^3$ /年)	4,577	4,392	4,217	4,159	3,910	4,006
有収水量(千 $m^3$ /年)	3,289	3,143	3,057	2,942	2,780	2,818
有収率(%)	71.85	71.56	72.50	70.74	71.10	70.34
給水原価(円/ $m^3$ )	154.21	163.41	163.74	172.01	176.10	162.75
供給単価(円/ $m^3$ )	184.41	184.41	184.06	185.10	183.71	184.51
1日平均配水量( $m^3$ )	12,506	12,034	11,553	11,394	10,684	10,976
1日最大配水量( $m^3$ )	16,607	15,621	15,315	15,019	16,110	13,708

#### (2)平成28年度事業別

項目 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
計画給水人口(人)	16,500	1,000	2,200	270	1,160	1,670	2,500	700	900
行政区域内人口(人)	15,238	245	458	140	552	611	964	161	178
給水人口(人)	15,222	245	458	140	552	607	964	161	178
水道普及率(%)	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	99.3	100.0	100.0	100.0
給水戸数(戸)	7,595	155	280	94	308	361	564	103	106
給水件数(件)	8,167	198	352	109	353	406	675	106	122
配水量(千 $m^3$ /年)	3,335	52	64	16	86	120	269	40	24
有収水量(千 $m^3$ /年)	2,425	24	48	15	63	79	126	19	19
有収率(%)	72.71	46.15	75.00	93.75	73.26	65.83	46.84	47.50	79.17
給水原価(円/ $m^3$ )	152.32	227.10							
供給単価(円/ $m^3$ )	185.42	178.89							
1日平均配水量( $m^3$ )	9,137	142	175	44	236	329	737	110	66
1日最大配水量( $m^3$ )	10,969	167	213	57	285	479	1324	138	77

#### 4. 口径別給水件数

##### (1) 年度別

口径 \ 年度	23	24	25	26	27	28
φ 13	9,977	9,891	9,755	9,643	9,537	9,313
φ 20	904	912	909	914	893	885
φ 25	139	140	142	140	140	140
φ 30	47	46	48	51	52	51
φ 40	55	56	56	55	55	55
φ 50	34	33	33	33	33	33
φ 75	9	9	8	8	8	8
φ 100	2	2	2	2	2	2
φ 150	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	1	1	1	1	1
合計	11,168	11,090	10,954	10,847	10,721	10,488

##### (2) 平成28年度事業別

口径 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 13	7,131	188	329	106	332	379	634	98	116
φ 20	791	7	18	1	11	20	30	4	3
φ 25	116	3	2	1	6	2	6	2	2
φ 30	41	0	2	0	3	2	1	1	1
φ 40	47	0	1	1	1	2	2	1	0
φ 50	31	0	0	0	0	0	2	0	0
φ 75	7	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 100	2	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,167	198	352	109	253	406	675	106	122

5. 口径別使用量

(1) 年度別

[単位:千㎡]

口径 \ 年度	23	24	25	26	27	28
φ 1 3	2,040	1,962	1,931	1,860	1,796	1,770
φ 2 0	273	254	252	244	236	242
φ 2 5	103	99	95	101	95	95
φ 3 0	77	73	80	78	71	67
φ 4 0	130	141	136	140	130	135
φ 5 0	245	235	232	199	174	172
φ 7 5	147	130	123	106	102	107
φ 1 0 0	17	23	15	14	10	12
φ 1 5 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	257	226	193	200	166	218
合計	3,289	3,143	3,057	2,942	2,780	2,818

(2) 平成28年度事業別

[単位:千㎡]

事業 \ 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 1 3	1,453	23	43	15	57	58	93	13	15
φ 2 0	214	1	3	0	2	4	16	1	1
φ 2 5	72	0	0	0	2	14	2	3	2
φ 3 0	64	0	0	0	1	0	1	0	1
φ 4 0	124	0	2	0	1	2	4	2	0
φ 5 0	162	0	0	0	0	0	10	0	0
φ 7 5	106	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 1 0 0	12	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 1 5 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	218	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,425	24	48	15	63	79	126	19	19



## 6. 使用量別集計

### (1) 上水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	3,230	792,912
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	2,414	509,582
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	1,595	252,661
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	704	151,215
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	133	93,570
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	74	216,995
501 m <sup>3</sup> 以上	17	407,919
合計	8,167	2,424,854

### (2) 簡易水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	1,350	193,386
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	628	95,262
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	221	36,718
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	97	20,477
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	15	11,078
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	8	26,822
501 m <sup>3</sup> 以上	2	9,217
合計	2,321	392,960

### (3) 合計

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	4,580	986,298
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	3,042	604,844
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	1,816	289,379
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	801	171,692
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	148	104,648
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	82	243,817
501 m <sup>3</sup> 以上	19	417,136
合計	10,488	2,817,814

7. 年度別件数・使用量・使用料金の推移

(1) 上水道

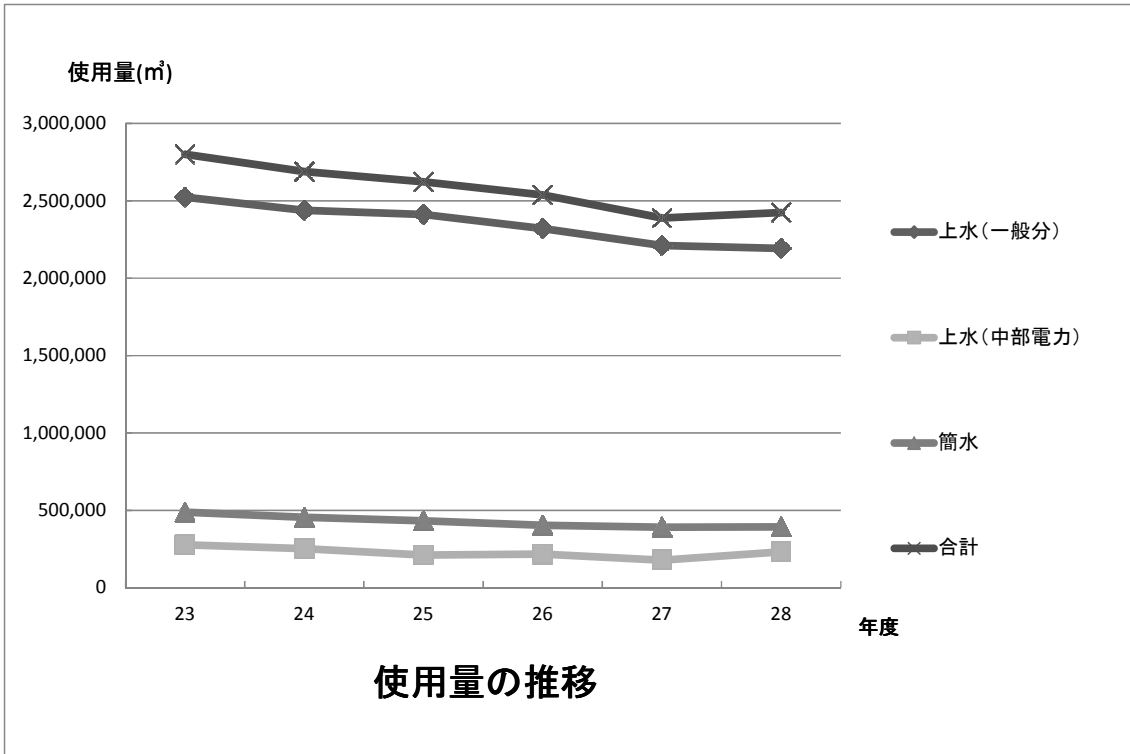
[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	23	24	25	26	27	28
一般分	件数		102,697	101,961	101,296	100,690	99,986	98,706
	使用量		2,524,029	2,437,994	2,413,660	2,321,852	2,211,012	2,193,356
	使用料金		472,143	456,226	451,820	445,111	424,062	421,040
中部電力	件数		61	60	60	60	60	60
	使用量		277,744	251,171	209,986	216,205	177,713	231,498
	使用料金		73,631	67,363	57,659	60,696	51,463	64,536
合計	件数		102,758	102,021	101,356	100,750	100,046	98,766
	使用量		2,801,773	2,689,165	2,623,646	2,538,057	2,388,725	2,424,854
	使用料金		545,774	523,589	509,479	505,807	475,525	485,576

(2) 簡易水道

[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	23	24	25	26	27	28
須賀利	件数		2,820	2,735	2,670	2,623	2,555	2,436
	使用量		29,367	27,974	26,976	25,254	2,4580	23,832
	使用料金		5,340	5,118	4,964	4,811	4,706	4,571
九鬼	件数		4,869	4,703	4,646	4,598	4,494	4,338
	使用量		62,588	59,815	55,358	54,222	49,263	47,803
	使用料金		11,743	11,270	10,520	10,703	9,840	9,411
早田	件数		1,493	1,466	1,392	1,379	1,390	1,376
	使用量		17,029	16,261	15,942	15,601	15,832	15,444
	使用料金		2,980	2,908	2,866	2,858	2,964	2,894
三木浦	件数		4,763	4,649	4,570	4,467	4,429	4,307
	使用量		72,861	70,704	67,120	64,763	62,175	62,487
	使用料金		12,662	12,317	11,611	11,598	11,193	10,952
三木里	件数		5,605	5,521	5,390	5,238	5,175	4,998
	使用量		89,172	83,511	82,330	79,902	79,348	79,231
	使用料金		16,951	16,004	15,662	15,747	15,659	15,679
古江 賀田	件数		9,685	9,506	9,367	9,072	8,838	8,360
	使用量		169,627	152,147	145,807	126,033	123,272	125,950
	使用料金		32,603	29,069	28,054	24,729	24,297	24,844
曾根	件数		1,637	1,587	1,583	1,492	1,452	1,356
	使用量		23,807	22,064	20,868	19,943	19,163	19,224
	使用料金		4,608	4,395	4,152	4,099	3,979	3,974
梶賀	件数		1,556	1,536	1,504	1,480	1,486	1,494
	使用量		22,500	21,420	19,197	18,167	18,090	18,989
	使用料金		4,151	3,918	3,539	3,503	3,509	3,596
合計	件数		32,428	31,703	31,122	30,349	29,819	28,665
	使用量		486,951	453,896	433,598	403,885	391,723	392,960
	使用料金		91,038	84,999	81,368	78,048	76,147	75,921



8. 水道料金表

(1) 水道加入金及び器具単価表

平成23年4月1日改正

口径	量水器加入金			φ13mm	φ20mm
13 mm	54,000 円			3,310 円	4,660 円
20 mm	97,200 円			3,150 円	4,320 円
25 mm	162,000 円			φ13mm 一式	φ20mm 一式
30 mm	237,600 円			加入金	54,000 円
40 mm	432,000 円			直結止水栓	3,310 円
50 mm	702,000 円			メーターボックス	3,150 円
75 mm	1,512,000 円			設計審査および 工事検査手数料	3,000 円
100 mm以上は市長がその都度定める				合計	63,460 円

設計審査及び工事検査手数料			φ13mm	φ20mm
口径	新設	変更等工事	3,150 円	4,320 円
13~20 mm	3,000 円	1,500 円	設計審査および 工事検査手数料	3,000 円
25~40 mm	4,500 円	2,300 円		
50 mm	6,000 円	3,000 円		

※上記価格は消費税(8%)込みの価格となります。

(2) 水道料金一覧表 (消費税率8%)

平成23年4月1日改正

用途	口径	基本料金		従量料金 (円) (1 m <sup>3</sup> 当たり)					
		水量	料金 (円)	10 m <sup>3</sup> 超 ~30 m <sup>3</sup> 以下	30 m <sup>3</sup> 超 ~50 m <sup>3</sup> 以下	50 m <sup>3</sup> 超 ~80 m <sup>3</sup> 以下	80 m <sup>3</sup> 超 ~150 m <sup>3</sup> 以下	150 m <sup>3</sup> 超 ~200 m <sup>3</sup> 以下	200 m <sup>3</sup> 超 ~
一般	13 mm	10 m <sup>3</sup> 以下	1,188.00	183.60	194.40	205.20	232.20	237.60	243.00
	20 mm		1,393.20						
	25 mm		2,624.40						
	30 mm		3,996.00						
	40 mm		8,629.20						
	50 mm		18,975.60						
	75 mm		35,596.80						
	100 mm		69,433.20						
	150 mm		148,651.20						
	250 mm		591,073.20						
臨時		1 m <sup>3</sup> 以下	1,014.12	1 m <sup>3</sup> 超	434.16				

私設消火栓 (演習用) 1回 218.16 円 ただし、1回5分間を超えることはできない。

※【水道料金】 = 【基本料金】 + 【従量料金】 (1円未満の端数は切り捨て)

## 9.水道料金分析表

### (1) 上水道 [一般分]

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成21年度	25.74 m <sup>3</sup>	3,715.86 円	144.36 円
平成22年度	25.43 m <sup>3</sup>	3,671.05 円	144.38 円
平成23年度	24.58 m <sup>3</sup>	4,597.44 円	187.06 円
平成24年度	23.91 m <sup>3</sup>	4,474.51 円	187.13 円
平成25年度	23.83 m <sup>3</sup>	4,460.39 円	187.18 円
平成26年度	23.06 m <sup>3</sup>	4,420.61 円	191.70 円
平成27年度	22.11 m <sup>3</sup>	4,241.14 円	191.82 円
平成28年度	22.22 m <sup>3</sup>	4,265.60 円	191.97 円

### (2) 簡易水道

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成21年度	15.70 m <sup>3</sup>	2,226.04 円	141.80 円
平成22年度	15.84 m <sup>3</sup>	2,267.80 円	143.16 円
平成23年度	15.02 m <sup>3</sup>	2,807.39 円	186.96 円
平成24年度	14.32 m <sup>3</sup>	2,681.10 円	187.27 円
平成25年度	13.93 m <sup>3</sup>	2,614.48 円	187.69 円
平成26年度	13.31 m <sup>3</sup>	2,571.68 円	193.21 円
平成27年度	13.14 m <sup>3</sup>	2,553.65 円	194.34 円
平成28年度	13.71 m <sup>3</sup>	2,648.56 円	193.18 円

## 10. 料金徴収方法

	上水道		簡易水道		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
口座振替	6,122	74.96%	2,035	87.68%	8,157	77.78%
クレジット	403	4.94%	23	0.99%	426	4.06%
集金	442	5.41%	88	3.79%	530	5.05%
納付書	1,164	14.25%	139	5.99%	1,303	12.42%
その他	36	0.44%	36	1.55%	72	0.69%
合計	8,167	100.00%	2,321	100.00%	10,488	100.00%

## 11. 検針員及び徴収員の人数

地区名 業務	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根・梶賀	合計
	検針	1	1	0	0	0	1	0	1	
徴収	0	0	0	0	0	0	0	0		0
検針兼徴収	2	0	0	1	1	0	1	0		5
合計	3	1	0	1	1	1	1	1		9

※九鬼地区については、上水担当者が兼務

1 2. 漏水事故発生件数

業務	地区名	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀	合計
		平成 23 年度	本管	11	2	0	0	0	1	0	2	0
	取出	78	14	3	6	8	4	9	18	3	5	148
	送水管	1					1				1	3
	施設											0
	合計	90	16	3	6	8	6	9	20	3	6	167
平成 24 年度	本管	22	2	0	0	4	1	0	1	0	0	30
	取出	72	6	4	5	11	11	11	7	2	1	130
	送水管			1								1
	施設											0
	合計	94	8	5	5	15	12	11	8	2	1	161
平成 25 年度	本管	18	5	0	0	0	1	1	3	1	1	30
	取出	60	3	2	3	4	3	3	7	2	5	92
	送水管											0
	施設											0
	合計	78	8	2	3	4	4	4	10	3	6	122
平成 26 年度	本管	19	4	0	0	0	0	0	3	1	0	27
	取出	94	2	4	0	5	1	3	5	3	1	118
	送水管											0
	施設	1										1
	合計	114	6	4	0	5	1	3	8	4	1	146
平成 27 年度	本管	14	0	0	2	3	1	0	1	1	0	22
	取出	53	6	4	5	4	6	1	9	3	3	94
	送水管									1		1
	施設											
	合計	67	6	4	7	7	7	1	10	5	3	117
平成 28 年度	本管	21	7	0	0	0	1	1	1	1	0	32
	取出	39	3	1	3	5	6	5	4	1	0	67
	送水管	1										1
	施設											
	合計	61	10	1	3	5	7	6	5	2	0	100

本管：配水管本管・支管

取出：給水管・止水栓・量水器

1.3. 給水加入状況

(1) 年度別

[単位：件]

年度 口径	20	21	22	23	24	25	26	27	28
φ13	55	30	32	39	45	48	40	34	45
φ20	7	3	2	0	3	9	7	3	6
φ25	1	3	1	1	0	0	0	3	1
φ30	0	0	0	0	0	1	3	1	2
φ40	0	0	1	0	0	1	1	2	1
φ50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	63	36	36	40	48	59	51	43	55

(2) 平成28年度事業別

[単位：件]

年度 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
φ13	43	0	0	0	0	1	0	1	0
φ20	5	0	0	0	0	0	0	0	0
φ25	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ30	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ40	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	51	0	0	0	0	1	0	1	0

口径変更

φ13→φ20	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ20→φ30	1	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 14. 管路延長

##### (1) 上水道口径別延長

[単位：m]

口径		年度					
		23	24	25	26	27	28
導水管	300 mm未満	290	290	290	290	172	172
	300～500 mm未満	132	132	132	132	132	132
	500～1,000 mm未満	85	85	85	85	85	85
	計	507	507	507	507	389	389
送水管	300 mm未満	109	109	106	106	109	139
	300～500 mm未満	1,313	1,313	1,313	1,313	1,313	1,283
	計	1,422	1,422	1,419	1,419	1,422	1,422
配水管	50 mm以下	27,872	27,755	27,755	27,823	27,823	27,825
	75 mm	33,308	33,390	33,390	33,390	33,390	33,313
	100 mm	24,894	24,805	24,805	24,812	24,812	24,812
	125 mm	2,764	2,764	2,764	2,764	2,764	2,764
	150 mm	13,414	13,466	13,466	13,467	13,467	13,542
	200 mm	3,772	3,720	3,720	3,720	3,720	3,720
	250 mm	126	126	126	126	126	126
	300 mm	10,076	10,076	10,076	10,076	10,076	10,076
	350 mm	0	0	0	0	0	0
	400 mm	771	771	771	771	771	771
	450 mm	0	0	0	0	0	0
	500 mm	312	312	312	312	312	312
	700 mm	13	13	13	13	13	13
	計	117,322	117,198	117,198	117,274	117,274	117,274
合計		119,251	119,124	119,124	119,203	119,085	119,085

【導水管】 水源から浄水場までの配管

【送水管】 浄水場から配水池までの配管

【配水管】 配水池から各家庭までの配管



## (2) 上水道管種別延長

[単位：m]

管種		年度						
		23	24	25	26	27	28	
導水管	ダクタイル鋳鉄管	507	507	507	507	389	389	
	計	507	507	507	507	389	389	
送水管	ダクタイル鋳鉄管	1,059	1,059	1,059	1,084	1,084	1,084	
	鋼管	363	360	360	338	338	338	
	計	1,422	1,419	1,419	1,422	1,422	1,422	
配水管	本管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	16,066	16,066	16,066	16,108	16,105	16,105
		鋼管	1,878	1,777	1,777	1,454	1,390	1,400
		石綿セメント管	0	0	0	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	14,269	13,890	13,692	13,491	13,266	13,012
		コンクリート管	0	0	0	0	0	0
		鉛管	0	0	0	0	0	0
		ポリエチレン管	1,484	1,915	2,113	2,595	2,887	3,131
		ステンレス管	127	127	127	127	127	127
		その他	0	0	0	0	0	0
		計	33,824	33,775	33,775	33,775	33,775	33,775
	支管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	8,211	8,211	8,211	8,211	8,211	8,211
		鋼管	3,480	3,474	3,474	3,474	3,474	3,474
		石綿セメント管	378	378	378	378	378	378
		硬質塩化ビニル管	70,513	70,444	70,444	70,520	70,520	70,520
		コンクリート管	0	0	0	0	0	0
		鉛管	0	0	0	0	0	0
		ポリエチレン管	905	905	905	905	905	905
		ステンレス管	11	11	11	11	11	11
		その他	0	0	0	0	0	0
		計	83,498	83,423	83,423	83,499	83,499	83,499
		計	117,322	117,198	117,198	117,274	117,274	117,274
合計		119,251	119,124	119,124	119,203	119,085	119,085	

## (3) 簡易水道管種別延長

[単位：m]

管種		地区							
		須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
導水管	ダクタイル鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鋼管	0	28	33	0	0	0	400	25
	硬質塩化ビニル管	0	0	0	842	0	0	0	0
	ポリエチレン管	0	0	181	0	0	0	0	605
	計	0	28	214	842	0	0	400	630
送水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	0	1,113	0	3,187	519	0	0	0
	鋼管	0	125	0	0	0	300	0	0
	その他	0	738	0	0	0	0	0	0
	計	0	1,976	0	3,187	519	300	0	0
配水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	1,179	0	1,635	620	2,604	2,128	0	0
	鋼管	0	3,097	0	55	0	3,238	1,645	727
	石綿セメント管	0	0	0	0	0	0	0	0
	硬質塩化ビニル管	1,518	2,782	530	5,450	8,093	10,548	775	703
	コンクリート管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉛管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポリエチレン管	239	28	0	342	63	179	248	30
	ステンレス管	0	139	0	0	0	30	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,936	6,046	2,165	6,467	10,760	16,123	2,668	1,460
合計	2,936	8,050	2,379	10,496	11,279	16,423	3,068	2,090	

## (4) 管種別延長合計

[単位：m]

管種	事業		
	上水道	簡易水道	合計
導水管	389	2,114	2,503
送水管	1,422	5,982	7,404
配水管	117,274	48,625	165,899
合計	119,085	56,721	175,806

## IV. 財務状況

### 1. 損益計算書

[単位：千円]

科目	年度	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
収益	営業収益	544,554	92.90%	513,049	92.44%	522,156	92.83%	
	給水収益	541,837	92.44%	510,808	92.04%	519,904	92.43%	
	受託工事収益	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
	他会計負担金	1,715	0.29%	1,496	0.27%	1,406	0.25%	
	その他営業収益	1,002	0.17%	745	0.13%	846	0.15%	
	営業外収益	41,619	7.10%	41,958	7.56%	40,349	7.17%	
	受取利息及び配当金	486	0.09%	396	0.07%	333	0.06%	
	他会計補助金	4,410	0.75%	4,041	0.73%	3,618	0.64%	
	長期前受金戻入	17,414	2.97%	17,536	3.16%	17,783	3.16%	
	資本費振入収益	12,736	2.17%	14,203	2.56%	15,032	2.67%	
	雑収益	6,573	1.12%	5,782	1.04%	3,583	0.64%	
	合計	586,173	100.00%	555,007	100.00%	562,505	100.00%	
	費用	営業費用	450,217	85.93%	438,402	86.37%	413,516	86.73%
		原水及び浄水費	87,208	16.64%	78,754	15.52%	74,352	15.59%
配水及び給水費		57,268	10.93%	52,252	10.29%	46,766	9.81%	
受託給水工事費		0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
業務費		40,455	7.72%	41,785	8.23%	39,083	8.20%	
総係費		48,189	9.20%	40,285	7.94%	34,778	8.30%	
減価償却費		214,639	40.97%	214,487	42.26%	213,359	44.75%	
資産減耗費		1,971	0.38%	10,459	2.06%	4,779	1.00%	
その他営業費用		487	0.09%	380	0.07%	399	0.08%	
営業外費用		73,726	14.07%	69,151	13.63%	63,272	13.27%	
支払利息		72,399	13.82%	67,979	13.39%	63,177	13.25%	
繰延勘定償却		1,094	0.21%	1,094	0.22%	0	0.00%	
雑支出		233	0.04%	78	0.02%	95	0.02%	
合計		523,943	100.00%	507,553	100.00%	476,788	100.00%	
経常利益（損失）	62,230		47,454		85,717			
特別利益	8,536		0		0			
特別損失	8,346		1,051		310			
純利益（損失）	62,420		46,403		85,407			
前年度繰越利益剰余金	53,808		116,228		162,630			
その他未処分利益剰余金変動額	573,824		6,120		53,369			
当年度未処分利益剰余金	690,052		168,751		301,406			

## 2. 貸借対照表

[単位：千円]

科目	年度	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
資産 の 部	1. 固定資産	5,843,952	87.82%	5,670,159	88.08%	5,523,243	87.30%
	(1)有形固定資産	5,843,146	87.81%	5,669,354	88.07%	5,522,436	87.29%
	イ. 土地	806,773	12.12%	806,773	12.53%	806,773	12.75%
	ロ. 建物	486,082	7.30%	473,686	7.36%	461,290	7.29%
	ハ. 構築物	3,611,765	54.28%	3,513,913	54.58%	3,423,138	54.11%
	ニ. 機械及び装置	931,184	13.99%	861,882	13.39%	812,083	12.84%
	ホ. 車両運搬具	381	0.01%	381	0.01%	2940	0.05%
	ヘ. 工具器具及び備品	5,235	0.08%	10,003	0.16%	13,312	0.21%
	ト. リース資産	1,726	0.03%	616	0.01%	308	0.00%
	建設仮勘定	0	0.00%	2,100	0.03%	2,592	0.04%
	(2)無形固定資産	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	イ. 電話加入権	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	(3)投資その他の資産	66	0.00%	65	0.00%	67	0.00%
	イ. 破産更生債権等	500	0.01%	500	0.01%	500	0.01%
	貸倒引当金	-500	-0.01%	-500	-0.01%	-500	-0.01%
	ロ. その他投資	66	0.00%	65	0.00%	67	0.00%
2. 流動資産	809,197	12.16%	767,839	11.92%	803,516	12.70%	
(1)現金預金	795,292	11.95%	754,978	11.73%	792,844	12.53%	
(2)未収金	12,722	0.19%	11,669	0.17%	9,743	0.16%	
貸倒引当金	-469	-0.01%	-505	-0.01%	-446	-0.01%	
(3)貯蔵品	1,643	0.03%	1,683	0.03%	1,356	0.02%	
(4)その他流動資産	9	0.00%	14	0.00%	19	0.00%	
3. 繰延勘定	1,094	0.02%	0	0.00%	0	0.00%	
(1)開発費	1,094	0.02%	0	0.00%	0	0.00%	
資産合計	6,654,243	100.00%	6,437,998	100.00%	6,326,759	100.00%	
負債 の 部	4. 固定負債	3,545,454	53.28%	3,349,428	52.03%	3,158,834	49.93%
	(1)企業債	3,438,751	51.68%	3,246,415	50.43%	3,056,390	48.31%
	(2)引当金	106,703	1.60%	103,013	1.60%	102,444	1.62%
	イ. 退職給付引当金	22,617	0.34%	18,927	0.29%	18,358	0.29%
	ロ. 修繕引当金	84,086	1.26%	84,086	1.31%	84,086	1.33%
	5. 流動負債	291,681	4.39%	236,346	3.66%	242,497	3.83%
	(1)企業債	206,501	4.10%	205,535	3.19%	207,477	3.28%
	(2)リース債務	332	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	(3)未払金	78,035	1.17%	24,090	0.37%	28,072	0.44%
	(4)引当金	5,813	0.09%	5,721	0.08%	5,948	0.09%
	イ. 賞与引当金	4,943	0.07%	4,822	0.07%	5,014	0.08%
	ロ. 法定福利費引当金	870	0.01%	899	0.01%	934	0.01%
	(5)その他流動負債	1,000	0.02%	1,000	0.02%	1,000	0.02%
	6. 繰延収益	418,009	6.28%	406,722	0.06	394,519	6.24%
(1)長期前受金	991,273	14.90%	997,523	15.50%	1,000,891	15.82%	
(2)長期前受金収益化累計額	-573,264	-8.62%	-590,801	-9.18%	-606,372	-9.58%	
負債合計	4,255,144	63.95%	3,992,496	62.01%	3,795,850	60.00%	

資本の部	7. 資本金	1,184,721	17.80%	1,758,546	27.32%	1,764,666	27.89%
	8. 剰余金	1,214,378	18.25%	686,956	10.67%	766,243	12.11%
	(1) 資本剰余金	46,821	0.70%	46,820	0.73%	46,821	0.74%
	イ. 工事負担金	6,596	0.10%	6,596	0.10%	6,596	0.11%
	ロ. 国県補助金	17,962	0.27%	17,962	0.28%	17,962	0.28%
	ハ. 他会計補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	ニ. 受贈財産評価額	22,084	0.33%	22,084	0.34%	22,084	0.35%
	ホ. その他資本剰余金	179	0.00%	178	0.01%	179	0.00%
	(2) 利益剰余金	1,167,557	17.55%	640,136	0.10	719,422	11.37%
	イ. 減債積立金	401,069	6.03%	394,949	6.13%	341,580	5.40%
	ロ. 建設改良積立金	76,436	1.15%	76,436	1.19%	76,436	1.21%
	ハ. 当年度未処分利益剰余金	690,052	10.37%	168,751	2.62%	301,406	4.76%
	資本合計	2,399,099	36.05%	2,445,502	37.99%	2,530,909	40.00%
	負債資本合計	6,654,243	100.00%	6,437,998	100.00%	6,326,759	100.00%

## 3. 資本の収支

[税込、単位：千円]

科目		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収入	出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	給水加入金	4,029	10.57%	3,715	18.83%	3,931	16.89%
	上水道給水加入金	3,791	9.95%	3,424	17.36%	3,823	16.43%
	簡易水道給水加入金	238	0.62%	291	1.47%	108	0.46%
	補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	国庫補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	負担金	1,691	4.44%	2,810	14.25%	1,940	8.34%
	他会計負担金	1,691	4.44%	2,810	14.25%	1,940	8.34%
企業債	32,400	84.99%	13,200	66.92%	17,400	74.77%	
上水道企業債	20,000	52.46%	0	0.00%	0	0.00%	
簡易水道企業債	12,400	32.53%	13,200	66.92%	17,400	74.77%	
合計	38,120	100.00%	19,725	100.00%	23,271	100.00%	
支出	建設改良費	85,240	29.86%	47,234	18.62%	76,918	27.25%
	固定資産購入費	3,230	1.14%	9,422	3.72%	11,822	4.19%
	機械装置費	1,849	0.65%	3,342	1.32%	3,155	1.12%
	車両運搬具費	0	0.00%	0	0.00%	2,835	1.00%
	工具器具備品費	1,381	0.48%	6,080	2.40%	5,832	2.07%
	設備購入費	1,318	0.46%	332	0.13%	0	0.00%
	リース債務支払額	1,318	0.46%	332	0.13%	0	0.00%
	上水道施設整備費	51,335	17.98%	19,011	7.49%	25,563	9.06%
	工事請負費	51,335	17.98%	19,011	7.49%	23,511	8.33%
	委託料	0	0.00%	0	0.00%	2,052	0.73%
	簡易水道施設整備費	29,357	10.28%	18,469	7.28%	39,533	14.00%
	工事請負費	29,357	10.28%	16,201	6.39%	39,533	14.00%
	委託料	0	0.00%	2,268	0.89%	0	0.00%
	企業債償還金	200,255	70.14%	206,501	81.38%	205,484	72.75%
	上水道企業債償還金	176,094	61.68%	180,060	70.96%	177,640	62.90%
	簡易水道企業債償還金	24,161	8.46%	26,441	10.42%	27,844	9.85%
補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
国庫補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
合計	285,495	100.00%	253,735	100.00%	282,402	100.00%	
収入 - 支出		△247,375		△ 234,010		△ 259,131	
当年度分	損益勘定保留資金	182,453	73.76%	200,778	85.80%	200,355	77.32%
	過年度分	59,084	23.88%	23,913	10.22%	0	0.00%
	損益勘定保留資金						
	当年度分	5,838	2.36%	3,199	1.36%	5,407	2.09%
	消費税資本の収支調整額						
	減債積立金	0	0.00%	6,120	2.62%	53,369	20.59%
建設改良積立金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
合計	247,375	100.00%	234,010	100.00%	259,131	100.00%	

4. 費用構成表【年度別】

[税抜、単位：千円]

項目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
職員給与費	84,089	16.08%	71,626	14.14%	71,168	14.92%
(1) 基本給	38,379	7.33%	39,363	7.77%	37,475	7.86%
(2) 手当	24,982	4.78%	20,207	3.99%	22,043	4.62%
(3) 賃金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(4) 退職給付費	7,891	1.51%	0	0.00%	0	0.00%
(5) 法定福利費	12,837	2.46%	12,056	2.38%	11,650	2.44%
支払利息	72,399	13.85%	67,979	13.42%	63,177	13.25%
(1) 一時借入金利息	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(2) 企業債利息	72,399	13.85%	67,979	13.42%	63,177	13.25%
減価償却費	214,639	41.05%	214,487	42.35%	213,359	44.75%
動力費	45,703	8.74%	38,874	7.68%	33,439	7.01%
光熱水費	564	0.11%	567	0.11%	525	0.11%
通信運搬費	5,049	0.97%	5,087	1.00%	5,057	1.06%
修繕費	25,193	4.82%	17,421	3.44%	14,753	3.10%
材料費	6,334	1.21%	6,386	1.26%	6,481	1.36%
薬品費	1,948	0.37%	2,087	0.41%	2,095	0.44%
路面復旧費	2,547	0.49%	1,331	0.26%	724	0.16%
委託料	46,739	8.94%	54,187	10.70%	48,211	10.11%
その他	17,645	3.37%	26,428	5.23%	17,799	3.73%
合計	522,849	100.00%	506,460	100.00%	476,788	100.00%

## 5. 費用構成表

[税抜、単位：千円]

		原水・浄水	配水・給水	業務	総係	その他	合計
基本給	給料	10,467	10,837	0	16,171	0	37,475
	扶養手当	744	1,173	0	372	0	2,289
手当	時間外手当	755	855	0	139	0	1,749
	特殊勤務手当	0	0	0	0	0	0
	管理職手当	0	0	0	534	0	534
	通勤手当	220	22	0	89	0	331
	住居手当	288	0	0	0	0	288
	期末勤勉手当	4,336	4,621	0	6,480	0	15,437
	児童手当	315	860	0	240	0	1,415
退職給付費		0	0	0	0	0	0
法定福利費		3,255	3,431	0	4,964	0	11,650
支払利息		0	0	0	0	63,177	63,177
減価償却費		0	0	0	0	213,359	213,359
動力費		28,756	4,683	0	0	0	33,439
光熱水費		274	251	0	0	0	525
通信運搬費		3,256	0	1,501	300	0	5,057
修繕費		4,170	6,714	3,869	0	0	14,753
材料費		0	6,481	0	0	0	6,481
薬品費		2,095	0	0	0	0	2,095
路面復旧費		0	724	0	0	0	724
委託料		10,401	5,532	31,075	1,203	0	48,211
その他	旅費	0	0	0	29	0	29
	被服費	0	0	0	135	0	135
	備品消費	189	205	140	226	0	760
	燃料費	235	175	19	78	0	507
	印刷製本費	0	0	202	31	0	233
	手数料	1,835	34	2,243	272	0	4,384
	賃借料	2,500	3	0	1,797	0	4,300
	広告料	0	0	0	29	0	29
	保険料	223	164	27	148	0	562
	公課費	38	0	7	0	0	45
	負担金	0	0	0	598	0	598
	材料売却原価	0	0	0	0	399	399
	研修費	0	0	0	238	0	238
	報酬	0	0	0	66	0	66
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	440	0	440
	報償費	0	0	0	200	0	200
	固定資産除却費	0	0	0	0	4,779	4,779
雑支出	0	0	0	0	95	95	
合計		74,352	46,765	39,083	34,779	281,809	476,788



## 6. 企業債の概要

### (1) 上水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	17	1,977,700,000	47.61%	1,280,313,979	43.74%
公営企業金融公庫	24	2,176,300,000	52.39%	1,646,672,070	56.26%
合計	41	4,154,000,000	100.00%	2,926,986,049	100.00%

### (2) 簡易水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	15	378,900,000	60.73%	147,804,691	43.87%
公営企業金融公庫	14	245,000,000	39.27%	189,076,094	56.13%
合計	29	623,900,000	100.00%	336,880,785	100.00%

### (3) 合計

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	32	2,356,600,000	49.32%	1,428,118,670	43.76%
公営企業金融公庫	38	2,421,300,000	50.68%	1,835,748,164	56.24%
合計	70	4,777,900,000	100.00%	3,263,866,834	100.00%

## V. 経営分析

### 1. 資産及び資本構成比率

項目	算式	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延勘定}} \times 100$	80.25	87.82	88.07	$\frac{5,523,243}{5,523,243+803,516+0} \times 100 = 87.30$	総資産における固定資産の割合。固定資産の増大は、固定費の増加や資産の固定化をもたらすため、比率は低い方が望ましい。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	49.92	53.28	52.03	$\frac{3,158,834}{6,326,759} \times 100 = 49.93$	総資本に対する長期負債の割合を表し、経営の長期的安全性を測る指標で、比率は低い方が望ましい。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	39.37	42.34	44.30	$\frac{1,764,666+766,243+0+394,519}{6,326,759} \times 100 = 46.24$	総資本に対する自己資本の割合を表す指標で、比率の高い方が経営の安全性は高いと言える。
固定資産対 長期資本 比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	89.88	91.85	91.43	$\frac{5,523,243}{1,764,666+766,243+0+3,158,834+394,519} \times 100 = 90.78$	固定資産の調達に、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるため、比率は100以下であることが必要。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	203.84	207.45	198.80	$\frac{5,523,243}{1,764,666+766,243+0+394,519} \times 100 = 188.80$	固定資産が自己資本でどの程度賄われているかを示す指標で、比率が低いほど良く、高いと借入金での資金調達を示し財政的不安定を意味する。
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	184.12	277.43	324.88	$\frac{803,516}{242,497} \times 100 = 331.35$	短期債務に対する支払い能力を示す指標。比率は100以上必要で、資金量を示すことから高いほど良い。
酸性試験 比率[%]	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	183.93	276.86	324.16	$\frac{792,844+(9,743-446)}{242,497} \times 100 = 330.78$	流動資産の内現金預金及び現金化されるものによる支払い能力を見る。比率は100以上が適当。
現金比率[%]	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	179.75	272.66	319.44	$\frac{792,844}{242,497} \times 100 = 326.95$	支払い能力を表す指標。比率は100以上が望ましい。

## 2. 回転率

項目	算式	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
自己資本 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\times 1/2}$	0.19	0.23	0.21	$\frac{522,156-0}{(2,445,502+2,530,909)\times 1/2} = 0.21$	投下した自己資本に対し、どれだけの営業収益が生じているか、すなわち自己資本の活動率を示す。
固定資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\times 1/2}$	0.09	0.09	0.09	$\frac{522,156-0}{(5,670,159+5,523,243)\times 1/2} = 0.09$	固定資産の利用度を示す数値で、高い値ほど固定資産が十分に活用されていることを示す。
流動資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\times 1/2}$	0.52	0.46	0.65	$\frac{522,156-0}{(767,839+803,516)\times 1/2} = 0.66$	一般的には高い値ほど良好であるが、流動資産の過少から高くなるものには、注意が必要である。
未収金 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\times 1/2}$	22.49	22.75	42.07	$\frac{522,156-0}{(11,669+9,743)\times 1/2} = 48.77$	未収金の回収速度を示すもので、高い値ほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示している。
減価償却率 [%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	3.53	4.09	4.23	$\frac{213,359}{5,522,436+740-806,773-2,592+213,359} \times 100 = 4.33$	減価償却費が適当か否か及び統一的な償却方法がとられているか否かを示す比率で年度により極端に変動していれば検討を要する。

(注) 自己資本＝自己資本金＋剰余金 (※ただし、平成26年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの)

### 3. 損益に関する比率

項目	算式	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
純資本利益率[%]	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})\times 1/2} \times 100$	1.07	0.88	0.72	$\frac{85,717}{(6,437,998+6,326,759)\times 1/2} \times 100 = 1.34$	投下した資本に対する利益率で、大きい方が良い。
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	115.11	111.73	109.12	$\frac{562,504}{477,098} \times 100 = 117.90$	全体的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	115.30	111.88	109.35	$\frac{562,504}{476,787} \times 100 = 117.98$	経常的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	131.50	120.95	117.03	$\frac{522,156-0}{413,516-0} \times 100 = 126.27$	主要事業での経営収支状態を示すもので、大きいほど良く100以下ならば原価に見合った収益確保の必要がある。
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金}+\text{建設改良の財源に充てるための企業債}\cdot\text{長期借入金}+\text{その他の企業債}\cdot\text{長期借入金}} \times 100$	1.82	1.99	1.97	$\frac{67,976+0}{0+3,263,867} \times 100 = 2.08$	負債に対する支払利息の比率、言い換えれば平均利率。
企業債償還元金対減価償却額比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	97.58	93.30	96.28	$\frac{205,484}{213,359} \times 100 = 96.31$	企業債の発行が経営規模に比べ適正かどうかを示す指標。 100以下が望ましい。
企業債償還元金対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	34.87	36.96	40.43	$\frac{205,484}{519,904} \times 100 = 39.52$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で、低いほど良い。
企業債利息対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	12.34	13.36	13.31	$\frac{67,976}{519,904} \times 100 = 13.07$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で低いほど良い。
職員給与費対給水収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	12.80	15.52	14.02	$\frac{71,168}{519,904} \times 100 = 13.69$	人的サービスの占める割合で、当然低い方が良い。 比率は30%前後が適当。

(注)※ただし、平成26年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したものの

4. その他比率

項目	算式	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	72.50	70.74	71.10	$\frac{2,817,814}{4,006,219} \times 100 = 70.34$	総配水量のうち、料金収入となった水量の割合。 高率ほど良い。
負荷率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	75.44	75.86	66.32	$\frac{10,976}{13,708} \times 100 = 80.07$	施設が年間を通じて有効に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
施設利用率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	65.72	64.82	60.78	$\frac{10,976}{17,578} \times 100 = 62.44$	施設が年間を通じて有効かつ適切に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	87.13	85.44	91.65	$\frac{13,708}{17,578} \times 100 = 77.98$	100%以上の時は配水能力が最大配水量に不足し、100%を大きく下回る場合は最大給水施設を有していることを示す。
配水管使用効率 [m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管総延長}}$	23.98	23.64	22.24	$\frac{4,006,219}{175,806} = 22.79$	導送配水管1m当たりの配水量を見て、その効率を測る。 量が多いほど使用効率が良い。
給水原価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費}-\text{材料売却原価}-\text{不用品売却原価}-\text{特別損失}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	163.74	177.93	176.10	$\frac{477,097,534-0-399,203-0-310,354-17,782,852}{2,817,814} = 162.75$	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価
供給単価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	184.06	184.18	183.71	$\frac{519,904,028}{2,817,814} = 184.51$	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価
職員一人当り 給水人口[人]	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	1,966	1,930	1,893	$\frac{18,527}{10} = 1,853$	職員数を他の事業体と単純に比較するのは難しいので、1人当たりの生産性により比較する。 数字は大きいほど生産性が高い。
職員一人当り 給水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	305,724	209,194	278,045	$\frac{2,817,814}{10} = 281,781$	
職員一人当り 営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	56,522	54,455	51,305	$\frac{522,156-0}{10} = 52,216$	
職員一人当り 有形固定資産 [千円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{損益勘定職員数}+\text{資本勘定職員数}}$	630,695	584,315	566,935	$\frac{5,522,436}{10+0} = 552,244$	

## 5. 経営指標一覧表

### (1)事業の概況

項目	算式	27年度			28年度
		全国平均	全国同規模	尾鷲市	
普及率[%] (対行政区域内人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内現在人口}} \times 100$	86.75	85.87	99.89	99.89
普及率[%] (対計画給水人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{計画給水人口}} \times 100$	90.50	83.01	70.36	68.87
平均有収水量[l]	$\frac{\text{1日平均有収水量}}{\text{現在給水人口}}$	307	369	401	417
有収水量の用途別内訳[%] (家庭用)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\phi 25 \text{以下})}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	78.48	69.53	76.49	74.78
有収水量の用途別内訳[%] (工場用)	$\frac{\text{1日平均有収水量(電力)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	6.33	10.24	6.40	8.19
有収水量の用途別内訳[%] (その他)	$\frac{\text{1日平均有収水量(その他)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	15.19	20.22	17.11	17.03

### (2)収益性に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	113.64	112.75	109.12	117.90	収益性をみる際の最も代表的な指標。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	113.70	112.86	109.35	117.98	
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	107.02	108.42	117.03	126.27	収益性を見るための指標。比率が高いほど利益率がよい。
自己資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	0.124	0.132	0.212	0.210	自己資本に対する営業収益の割合。比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発。
総資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2}$	0.081	0.085	0.078	0.082	総資本に対する営業収益の割合
固定資産回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	0.092	0.100	0.089	0.093	固定資産に対する営業収益の割合。高いほど施設が有効に稼働している。
未収金回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	7.044	7.410	42.07	48.77	未収金の回収速度を示す指標。高い程よい。
総資本利益率[%]	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2} \times 100$	1.14	1.17	0.72	1.34	総資本の収益性を表す指標。高い程総合的な収益性が高い。

※ 自己資本=自己資本金+剰余金 (注)ただし、平成26年度に限り期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳をしたもの

## (3)資産の状態に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
企業債償還元金 対減価償却費比率 [%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	76.79	77.15	96.28	96.31	投下資本の 回収と再投 資とのバラ ンスを見る 指標。
有形固定資産 減価償却率[%]	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産帳簿原価}} \times 100$	45.82	48.06	42.97	44.68	償却資産に おける減価 償却済の割 合を示す比 率。
当年度減価償却率 [%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	4.04	4.12	4.23	4.33	償却対象固 定資産に対 する平均償 却率である。

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
有収水量 1 m <sup>3</sup> 当たり						
有形固定資産[円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	1,680.22	1271.82	2,039.01	1,959.83	
無形固定資産[円]	$\frac{\text{無形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	16.66	24.46	0.27	0.26	
資産合計[円]	$\frac{\text{資産合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,950.55	1,558.88	2,315.45	2,245.27	
負債合計[円]	$\frac{\text{負債合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,077.56	847.08	1,435.92	1,347.09	
資本合計[円]	$\frac{\text{資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	872.99	711.80	879.54	898.18	
資本金[円]	$\frac{\text{資本金}}{\text{年間総有収水量}}$	658.04	444.16	632.47	1158.30	
利益剰余金[円]	$\frac{\text{利益剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	159.25	221.58	230.23	626.25	
資本剰余金[円]	$\frac{\text{資本剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	55.60	46.07	16.84	16.62	
企業債現在高[円]	$\frac{\text{企業債}}{\text{年間総有収水量}}$	608.36	503.73	1,241.51	1,158.30	

## (4)財務比率に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全平	国均	全国同規模 尾鷲市		
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	334.09	421.53	324.88	331.35	短期債務に対する支払い能力を表している。100%以上であることが必要。
当座比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	323.61	405.88	324.38	330.97	短期債務に対する支払能力を表す比率。
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$	0.657	0.549	0.651	0.665	流動資産の経営活動における回転度を表す。
自己資本構成比率[%]	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	66.07	64.88	37.99	40.00	総資本に占める自己資本の割合。高いほど経営の安全性が高い。
固定資産構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	87.70	84.08	88.07	87.30	資産合計中の固定資産の割合を表す。低い方が柔軟な経営が可能となる。
固定資産対長期資本比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	91.05	87.37	97.85	97.07	事業の固定的・長期的安全性をみる指標。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	132.74	129.59	231.86	218.23	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。
固定負債構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{流動負債(建設改良の財源に充てるための企業債)}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	30.25	31.35	55.22	53.21	他人資本依存度を示す指標。



## (5)施設の効率性に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
施設利用率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	59.20	50.58	60.78	62.44	施設の利用状況を総合的に判断する為の指標。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	72.58	64.57	91.65	77.98	1日配水能力に対する1日最大配水量。
負荷率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	81.57	78.33	66.32	80.07	施設が有効に使用されているかどうかをみる指標。 高いほど良い。
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	85.33	82.23	71.10	70.34	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについての比率。
固定資産使用効率 [m <sup>3</sup> /万円]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	6.97	9.56	6.90	7.25	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。 高いほど施設が効率的である。
配水管 100m当たり 給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{配水管延長}}$	13	13	11.41	10.54	施設の有効性を示す指標。
配水管使用効率[m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	16.22	20.15	22.24	22.79	施設の効率性を示す指標。

## (6)生産性に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
職員1人あたり						
給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	3,659	3,531	1,893	1,853	職員1人あたりの生産性について把握するための指標。大きいほど良い。
有収水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	411,215	477,469	278,045	281,781	
営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	64,477	62,835	51,305	52,216	
給水収益[千円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	62,425	61,029	51,305	51,990	
職員給与費 対営業収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	11.77	11.39	13.96	13.63	営業収益に対する職員給与費の割合。
有収水量1万m <sup>3</sup> /1日 当たり 損益勘定職員数[人]	$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量}(1\text{万m}^3/\text{日})}$	9.00	8.00	13.13	12.95	適正な職員数と配置がされているかどうかを把握するための指標。

## (7)料金に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
給水原価[円]	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{付帯工事費}-\text{材料売却原価}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	142.94	120.52	176.10	162.75	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価
供給単価[円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	151.80	127.82	183.71	184.51	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価
料金回収率[%]	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	106.20	106.05	104.32	113.37	100%を下回る場合、給水に係る費用が水道料金以外で賄われていることを示す。
1ヶ月10m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金 [円]		1,419	1,079	1,188	1,188	消費税率8%込
1ヶ月20m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金 [円]		2,929	2,317	3,024	3,024	消費税率8%込

## (8)費用に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
費用構成比						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{費用合計}} \times 100$	11.51	11.31	14.14	14.93	
支払利息[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{費用合計}} \times 100$	8.36	8.02	13.42	13.25	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{費用合計}} \times 100$	41.95	39.50	42.35	44.75	
動力費[%]	$\frac{\text{動力費}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.45	8.32	7.68	7.01	
光熱水費[%]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.17	0.10	0.11	0.11	
通信運搬費[%]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.59	0.58	1.01	1.06	
修繕費[%]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.03	5.63	3.44	3.10	
材料費[%]	$\frac{\text{材料費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.31	0.23	1.26	1.36	
薬品費[%]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.51	0.60	0.41	0.44	
路面復旧費[%]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.27	0.18	0.26	0.15	
委託料[%]	$\frac{\text{委託料}}{\text{費用合計}} \times 100$	9.70	8.18	10.70	10.11	
受水費[%]	$\frac{\text{受水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	9.01	11.00	0.00	0.00	
その他[%]	$\frac{\text{その他}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.15	6.33	5.22	3.73	

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
給水収益中						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	12.16	11.72	14.02	13.69	給水収益と比較した場合の各費用の比率を示した指標。
企業債利息[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	8.83	8.31	13.31	12.15	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給水収益}} \times 100$	44.31	40.93	41.99	41.04	
企業債償還元金[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	25.22	24.38	40.43	39.52	

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
有収水量 1 m <sup>3</sup> 当たり						
職員給与費[円]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	18.45	14.98	25.76	25.26	
基本給[円]	$\frac{\text{基本給}}{\text{年間総有収水量}}$	9.57	7.95	13.32	13.30	
手当[円]	$\frac{\text{手当}}{\text{年間総有収水量}}$	4.67	3.78	8.11	7.82	
賃金[円]	$\frac{\text{賃金}}{\text{年間総有収水量}}$	0.36	0.39	0.00	0.00	
退職給付費[円]	$\frac{\text{退職給付費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.65	0.17	0.00	0.00	
法定福利費[円]	$\frac{\text{法定福利費}}{\text{年間総有収水量}}$	3.20	2.69	4.34	4.13	
支払利息[円]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{年間総有収水量}}$	13.41	10.63	24.45	22.42	
減価償却費[円]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	67.26	52.32	77.14	75.72	
動力費[円]	$\frac{\text{動力費}}{\text{年間総有収水量}}$	10.34	11.02	13.98	11.87	
光熱水費[円]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.28	0.14	0.20	0.19	
通信運搬費[円]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.95	0.77	1.83	1.79	
修繕費[円]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{年間総有収水量}}$	8.07	7.46	6.27	5.24	
材料費[円]	$\frac{\text{材料費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.49	0.30	2.30	2.30	
薬品費[円]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.81	0.80	0.75	0.74	
路面復旧費[円]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.44	0.24	0.48	0.26	
委託料[円]	$\frac{\text{委託料}}{\text{年間総有収水量}}$	15.56	10.84	19.49	17.11	
受水費[円]	$\frac{\text{受水費}}{\text{年間総有収水量}}$	14.44	14.57	0.00	0.00	
その他[円]	$\frac{\text{その他}}{\text{年間総有収水量}}$	9.85	8.39	9.51	6.32	
費用合計[円]	$\frac{\text{費用合計}}{\text{年間総有収水量}}$	160.34	132.45	182.15	169.20	
資本費[円]	$\frac{\text{企業債利息} + \text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	71.25	59.37	101.59	98.14	
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{企業債} + \text{一時借入金} + \text{建設改良の財源に充てるための企業債}}$	2.20	2.09	0.02	0.02	外部利子の平均利率を示す。

(9)繰入金の状況に関する項目

項目	算式	27年度			28年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
繰入金比率[%] (収益的収入分)	$\frac{\text{繰入金(収益的収入分)}}{\text{総収益}} \times 100$	2.82	2.58	3.56	3.57	収入における繰入金依存度を分析する比率。
繰入金比率[%] (資本的収入分)	$\frac{\text{繰入金(資本的収入分)}}{\text{資本的収入計}} \times 100$	15.02	9.77	14.45	9.97	

## VI. 施設概要

### 1. 水源施設数

(1)水源施設 (送水・消毒設備 11 箇所)

矢ノ浜・須賀利・九鬼・早田・三木浦第1・三木浦第2・三木里・賀田第1(北)・賀田第1(南)・曾根・梶賀

(2)取水施設

取水施設名		水源名	箇所数	
上水道	矢ノ浜	地下水(浅層井戸) 1号井・3号井・4号井・5号井・6号井	5	
		矢ノ川伏流水 1号井・2号井	2	
簡易水道	須賀利	地下水(浅井戸) 1号井・2号井	2	
	九鬼	滝ノ頭川表流水	1	
	早田	大川表流水	1	
	三木浦	第1	三木谷川表流水	1
		第2	浦越川表流水	1
	三木里	八十川伏流水 1号井	1	
	賀田第1	北	地下水(浅井戸) 1号井	1
		南	地下水(浅井戸) 1号井	1
	曾根	逢神川表流水	1	
	梶賀	梶賀川表流水	1	
合計			18	

## 2. 各施設ポンプ能力(52台)

区分	施設名	用途	口径φ (mm)	毎分流量 (m <sup>3</sup> )	24時間流量 1日最大(m <sup>3</sup> )	全揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
上水道	矢ノ浜浄水場	送水	250	7.00	10,080	79.0	132.0	2
		配水	200	5.60	8,064	59.0	90.0	3
		取水	100	2.78	4,003	22.0	18.5	2
		取水	200	4.17	6,004	20.0	30.0	2
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	125	1.25	1,800	42.5	11.0	1
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	100	1.60	2,304	25.0	11.0	1
		取水	80	0.50	720	26.0	5.5	1
		ろ過	200	5.00	7,200	18.0	30.0	1
	馬越 送水ポンプ場	送水	80	0.40	576	112.0	18.5	2
	泉台 加圧ポンプ場	配水	100	0.80	1,152	67.0	18.5	2
	光ヶ丘 送水ポンプ場	送水	100	1.10	1,584	55.0	18.5	2
	向井 加圧ポンプ場	配水	80	0.50	720	65.0	11.0	2
簡易水道	須賀利浄水場	配水	65	0.80	1,152	72.0	15.0	2
		取水	50	0.38	540	15.0	1.5	4
	三木浦第1 浄水場	送水	80	1.10	1,584	47.0	15.0	2
	三木浦第2 浄水場	送水	50	0.32	454	72.0	7.5	2
		逆洗	100	1.10	1,584	19.5	5.5	2
	三木里浄水場	送水	100	0.92	1,325	75.0	22.0	2
		取水	80	0.50	720	10.0	5.5	2
	賀田第1(北) 浄水場	送水	100	1.00	1,440	60.0	18.5	2
	賀田第1(南) 浄水場	送水	80	0.50	720	87.0	15.0	2
		取水	80	0.7	1,008	13.0	5.5	2
		逆洗	150	2.70	3,888	17.0	11.0	2
	賀田第2 加圧ポンプ場	配水	100	0.97	1,397	60.0	18.5	2
	古江加圧 ポンプ場	配水	80	0.70	1,008	63.0	15.0	2
	曾根 加圧ポンプ場	配水	40	0.22	317	—	2.2	1

3. 電力使用量【矢ノ浜浄水場：年度別】 [単位:kWh]

年度 月	23	24	25	26	27	28
4月	149,381	124,824	129,576	146,184	136,595	140,908
5月	139,332	123,720	128,244	143,903	136,834	142,153
6月	142,780	127,188	136,908	159,349	141,666	131,278
7月	154,256	132,972	136,896	155,401	143,658	138,509
8月	159,403	142,524	140,244	172,691	159,969	149,760
9月	161,907	137,532	137,256	174,773	154,277	147,556
10月	148,559	127,392	126,420	165,226	135,484	141,375
11月	149,372	127,392	124,488	173,483	139,663	133,730
12月	137,531	121,992	119,820	166,699	138,581	152,097
1月	149,562	132,516	124,368	178,614	146,888	167,182
2月	146,939	133,092	126,552	177,566	142,048	138,205
3月	139,152	120,096	120,228	158,335	128,962	129,675
合計	1,778,174	1,551,240	1,551,000	1,972,224	1,704,625	1,712,428

4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表

区分	施設名	名称	容量[m <sup>3</sup> ]
上水道	矢ノ浜浄水場	配水池 1 号	3,322
		配水池 2 号	2,512
	桂山配水池	配水池	5,750
	泉台加圧ポンプ場	ポンプ井	140
	光ヶ丘送水ポンプ場	ポンプ井	58
	光ヶ丘配水池	配水池	1,000
	馬越送水ポンプ場	ポンプ井	122
	馬越配水池	配水池	107
	向井加圧ポンプ場	ポンプ井	102
簡易水道	須賀利浄水場	ポンプ井	303
	九鬼配水池	配水池	279
	早田浄水場	配水池	64
	三木浦第 1 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦第 2 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦配水池	配水池	450
	三木里浄水場	ポンプ井	104
	三木里配水池	配水池	375
	賀田配水池	配水池	246
	賀田第 1(南)浄水場	ポンプ井	65
	賀田第 2 加圧ポンプ場	ポンプ井	350
	古江加圧ポンプ場	ポンプ井	216
	曾根配水池	配水池	100
	梶賀配水池	配水池	39



## 5. 施設所在地

施設名	所在地
矢ノ浜浄水場	尾鷲市矢浜四丁目 4 番 8 号
桂山配水池	尾鷲市大字南浦矢ノ浜上ノ山 1917-32
馬越送水ポンプ場	尾鷲市北浦西町 1508
馬越配水池	尾鷲市馬越町 3838
泉加圧ポンプ場	尾鷲市古戸野町 4-18
光ヶ丘送水ポンプ場	尾鷲市光ヶ丘 13-31
光ヶ丘配水池	尾鷲市大字南浦 1836-2
向井加圧ポンプ場	尾鷲市大字向井 195-4、195-5
須賀利浄水場	尾鷲市須賀利町 505-1
九鬼配水池	尾鷲市九鬼町 305
早田浄水場	尾鷲市早田町 252-1
三木浦第 1 浄水場	尾鷲市三木浦町 53
三木浦第 2 浄水場	尾鷲市早田町 351-6
三木浦配水池	尾鷲市三木浦町 303-20
三木里浄水場	尾鷲市三木里町 1123
三木里配水池	尾鷲市三木里町 902-3
賀田第 1(北)浄水場	尾鷲市賀田町 972-180
賀田第 1(南)浄水場	尾鷲市賀田町 970-3
賀田第 2 加圧ポンプ場	尾鷲市賀田町 318-36
古江加圧ポンプ場	尾鷲市古江町 670-21
賀田配水池	尾鷲市賀田町 1008-2
曾根配水池	尾鷲市曾根町 376-3
曾根加圧ポンプ場	尾鷲市曾根町 520-2
梶賀配水池	尾鷲市梶賀町寺ノ上 149

## VII. 設 備

### 1. 上水道

#### (1) 矢ノ浜浄水場

##### 【No.1】

公 称 能 力	14,500 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経 歴	昭和 41 年竣工 平成 19 年度 新矢ノ浜浄水場築造		
配 水 池	1号配水池 PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ23.0m×有効8.0m Ve=3,322 m <sup>3</sup>		1池
	2号配水池 PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ20.0m×有効8.0m Ve=2,512 m <sup>3</sup>		1池
送 水 ポ ン プ	送水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備1台) φ250mm×φ150mm×7.0 m <sup>3</sup> /min×79m×132kw		2台
	配水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備2台) φ200mm×φ150mm×5.6 m <sup>3</sup> /min×59m×90kw		3台
取 水 ポ ン プ	伏流水1号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ100mm×2.78 m <sup>3</sup> /min×22m×18.5kw		2台
	伏流水2号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ200mm×4.17 m <sup>3</sup> /min×20m×30kw		2台
	浅井戸1号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1台
	浅井戸3号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ125mm×1.25 m <sup>3</sup> /min×42.5m×11kw		1台
	浅井戸4号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1台
	浅井戸5号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ100mm×1.6 m <sup>3</sup> /min×25m×11kw		1台
	浅井戸6号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×26m×5.5kw		1台
ろ 過 ポ ン プ	ろ過機水中ポンプ 水中渦巻ポンプ φ200mm×5.0 m <sup>3</sup> /min×18m×30kw		1台
消 毒 設 備	薬 注 ポ ン プ	定量比例注入ポンプ 1・2号 0.6~17ml/min 1.0MPa	2台
		定量比例注入ポンプ 3号 (内予備1台) 1.7~51ml/min 1.0MPa	2台
		定量比例注入ポンプ 4号 (内予備1台) 3.4~102ml/min 0.7MPa	2台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 φ1.3m H=1.62m 素材 ポリエチレン Ve=1.5 m <sup>3</sup>		2台

【No.2】

ポンプ井 (着水井)	伏流水1号井 楕円形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径 $\phi$ 8.0m $\times$ H9.0m		1井	
	伏流水2号井 長方形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.0m $\times$ L12.5m $\times$ H7.0m		1井	
	浅井戸1号井 SP $\phi$ 600mm $\times$ H15m		1井	
	浅井戸3号井 SP $\phi$ 400mm $\times$ H15m		1井	
	浅井戸4号井 SP $\phi$ 600mm $\times$ H15m		1井	
	浅井戸5号井 SP $\phi$ 400mm $\times$ H15m		1井	
	浅井戸6号井 SP $\phi$ 600mm $\times$ H15m		1井	
集水管	集水埋管伏流水1号 有孔 HP $\phi$ 700mm $\sim$ L=150m		1式	
	集水埋管伏流水2号 有孔 HP $\phi$ 1,500mm $\sim$ L=243m		1式	
ポンプ井 (ろ過)	ろ過ポンプ井 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m $\times$ L5.0m $\times$ 深さ 4.0m		1井	
契約電力	高压電力 B 515A $\cdot$ kw 力率 97%			
受変電設備	高压変圧器 6.6kv/420 500kVA		2台	
ろ過器	ろ過器 急速ろ過器 動式密閉型 1池当り4分割 ろ過速度 120m/日		1台	
電気計装設備	流量計	1・4号井取水流量計 $\phi$ 300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		3・5・6号井取水流量計 $\phi$ 300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		伏流水1号井取水流量計 $\phi$ 400mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 超音波式	1台	
		伏流水2号井取水流量計 $\phi$ 500mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 水中型超音波式	1台	
		送水流量計 $\phi$ 250mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
		配水流量計 $\phi$ 300mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
	水位計	投込式	0~10m 配水池用	2台
			浅井戸用	4台
	自動通報装置付中央監視装置		1台	
	テレメーター親局		1式	
自家発電設備	ガスタービン式発電機 発電機 3 $\phi$ 3w 500kVA 6600V 4極 ガスタービン 単純開放サークル1軸式 441kw		1台	
	燃料タンク A重油1種1号 1,500 $\ell$		1台	
	地下タンク A重油1種1号 7,000 $\ell$		1台	

## (2)桂山配水池

公称能力	5,750 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	昭和41年 竣工 平成16年度 送水ポンプ取替工事 平成19年度 緊急遮断弁設置工事 平成25年度 桂山配水池築造工事	
配水池	配水池 ステンレス製角型 内法 W23.0m×L25.5m×有効 10.58m=約 2,875 m <sup>3</sup> Ve=2,875 m <sup>3</sup> ×2池=5,750 m <sup>3</sup>	2池
契約電力	従量電灯 B 60A・kw	
電気設備	水位計 投込式液面発信器 0~10m	2台
	無停電電源装置	1台
	直流電源装置	1台
	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁ウェイト式 油圧分離型 [震度・流量併用感知方式] 内面エポキシ樹脂粉体塗装 φ300 バタフライ式 弁箱肉厚 13mm φ150 バタフライ式 弁箱肉厚 15mm	1台 1台
	地震監視装置 (地震ウォッチャー) 型式: SW-74	1台
	テレメーターSAS55 子局	1台

## (3)馬越送水ポンプ場

公称能力	576 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	平成12年度 送水・配水池機械電気設備	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.15m×L4.0m=16.6 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.4 m <sup>3</sup> /min×112m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=70 m <sup>3</sup> 内法 W3.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=52.5 m <sup>3</sup>	1池 1池
契約電力	低圧電力 26A・kw 力率90% 従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	水位指示警報計 配水池水位計 0~3m DC1~5v	1台
	積算カウンター 配水池流量 8桁	1台
	2ペーン記録計 水位・配水量	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 14.5ml/min 1.0MPa ストローク数 23s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	1台
自家発電設備	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 30ℓ	1台

## (4)馬越配水池

公称能力	107 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	平成12年度 馬越配水池改良工事	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.2×L3.5×有効3.0=65.1 m <sup>3</sup> 内法 W6.2×L3.5×有効1.9=42.23 m <sup>3</sup> Ve=65.1 m <sup>3</sup> +42.23 m <sup>3</sup> =107.3 m <sup>3</sup>	1池 1池

## (5)泉台加圧ポンプ場

公称能力	1,152 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)		
経歴	昭和 50 年度 竣工		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W10.6m×L8.6m=90 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) φ 100×0.8 m <sup>3</sup> /min×67m×18.5kw 1,800rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W10.6m×L8.6m×有効 1.5m Ve=140 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 22A・kw 力率 90% 従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	コンプレッサー		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 2.6m×L5.18m Ve=30.8 m <sup>3</sup> 最高使用圧力 6kg/c m <sup>2</sup> 銅板 16mm 鏡板 22mm		1 台
	水位計	フロート液面発信機(FNF 型)	1 台
		デジタル指示警報計 0~5m	1 台
	配水圧力 デジタル指示警報計 0~10kg/c m <sup>2</sup>		1 台
	直流電源装置		1 台
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式		1 台
	燃料タンク 35ℓ		1 台

## (6)光ヶ丘送水ポンプ場

公称能力	1,584 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	昭和 60 年度 電気・計装改築工事 平成 18 年度 ポンプ取替工事(防振架台)	
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.1m×L5.7m=29 m <sup>2</sup>	1 室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ(防振架台) φ100×1.1 m <sup>3</sup> /min×55m×18.5kw 1,735rpm(内予備 1 台)	2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.7m×L5.1m×有効 2.0m Ve=58.1 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	配水流量計	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 薬液定量ポンプ 34cc/min 15MPa ストローク長 3m/m	2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2 台

## (7)光ヶ丘配水池

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	昭和 61 年 竣工 平成 17 年度 緊急遮断弁オーバーホール	
配水池	PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径 φ16.0m×有効 5.0m Ve=1,000 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁(分離型) 震度感知方式 口径 φ200mm バタフライ形式 面間 300mm 弁箱の肉厚 13mm 右回し開き 使用最高圧力 0.45MPa	1 台
	水位計	1 台

## (8)向井加圧ポンプ場

公称能力	720 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)		
経歴	昭和 51 年度 竣工 平成 17 年度 電気制御盤更新		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.55m×L7.45m=34 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 80×0.5 m <sup>3</sup> /min×65m×11kw 1,800rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.55m×L7.45m×有効 3.0m Ve=102 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 14A・kw 力率 80% 従量電灯 B 20A・kw		
電気設備	コンプレッサー POD-0.75LT 0.75kw3Φ 0.2~0.69MPA 65 ㍉/min		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 1.9m×L4.6m Ve=14.3 m <sup>3</sup> 最高使用圧 5kg/c m <sup>2</sup> 銅板 12mm 鏡板 12mm		1 台
	水位計	フロート液面発信器	1 台
		水位指示計 0~4m	1 台
	直流電源装置		1 台
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式		1 台
	燃料タンク 100ℓ		1 台



## 2. 簡易水道

### (1) 須賀利浄水場

公称能力	297 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	昭和 56 年度 竣工 平成 17 年度 電波発信型水位計更新		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=48 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ φ65×0.8 m <sup>3</sup> /min×72m×15kw 1,800rpm(内予備 1 台)		2 台
取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ50×0.375 m <sup>3</sup> /min×15m×1.5kw 3,400rpm		4 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W11.9m×L10.9m×有効 2.5m Ve=303 m <sup>3</sup>		1 池
取水井	RC 造り (鉄筋コンクリート造)	1 号井 内法 φ 3.0m×深さ 6.0m	1 井
		2 号井 内法 φ 1.2m×深さ 6.2m	1 井
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	水位計 電波発信型水位計		1 台
	流量計 電磁流量計		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横置円筒型) 胴の最大内径 1.2m~1.6m 9.5kg/c m <sup>2</sup> 内容積 2.15 m <sup>3</sup>		1 台
	自動給水装置 最大 800ℓ /min 起動圧力選定範囲 5.1~6.8kg/m <sup>2</sup>		1 台
	自動通報装置		1 台
	直流電源装置		1 台
	テレメーターSAS55 子局		1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

### (2) 九鬼配水池

公称能力	495 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	昭和 57 年度 急速ろ過器設備 平成 19 年度 急速ろ過器自動逆洗化工事		
ろ過器	急速ろ過器 RSF 型ろ過器 4 型 20 m <sup>3</sup> /h		1 台
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W13.7m×L3.4m×有効 3.0m=139.7 m <sup>3</sup> Ve=139.7 m <sup>3</sup> ×2 池=279.4 m <sup>3</sup>		2 池
契約電力	従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	自動通報装置		1 台
	テレメーターSAS15 子局		1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台

## (3)早田浄水場

公称能力	81 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	平成4年度 電気計装設備 平成17年度 水中型電磁流量計更新		
ろ過池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 緩速ろ過 W5.9m×L4.0m×H2.6m H2.6m内→ろ過砂0.8m 小砂0.1m 中砂0.1m 大砂0.15m 真空有孔レガ、空洞ブロック0.25m		2池
沈殿槽	RC造り(鉄筋コンクリート造) 普通沈澱池		2池
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L3.5m×有効2.3m=32.2 m <sup>3</sup> Ve=32.2 m <sup>3</sup> ×2池=64.4 m <sup>3</sup>		2池
契約電力	従量電灯 B 40A・kw		
電気設備	配水流量計	水中型電磁流量計	1台
		デジタル積算計	1台
	テレメーターSAS15子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (4)三木浦第1浄水場

公称能力	326 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	昭和56年度 竣工		
計装室 (滅菌室)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=3.75m×2m=7.5 m <sup>2</sup>		1室
送水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.1 m <sup>3</sup> /min×47m×15kw 3,600rpm (内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造)		1池
契約電力	低圧電力 18A・kw 力率80% 従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	自動通報装置		1台
	テレメーターSAS15子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (5)三木浦第2浄水場

公称能力	326 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	昭和 63 年度 竣工 平成 19 年度 送水ポンプ取替工事 平成 26 年度 非常用発電機取替工事		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W9.0m×L5.5m=49.5 m <sup>2</sup>		1 室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 50×0.315 m <sup>3</sup> /min×72m×7.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)		2 台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100×1.10 m <sup>3</sup> /min×19.5m×5.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.5m×有効 2.3m Ve=82.2 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 16A・kw 力率 90% 従量電灯 B 50A・kw		
ろ過器	横型凝集沈殿装置 10 m <sup>3</sup> /h		2 台
電気設備	SASIO テレメータテレコントロール装置 親局		1 台
	ろ過器 急速ろ過器 10 m <sup>3</sup> /h		2 台
	表面散乱形濁度計 W301+WA203+WLS30T		1 台
	無試薬遊離塩素計(パイプスタンド形)ZXM		1 台
	流量計		1 台
	テレメーターSAS55 子局		1 台
消毒設備	次亜塩素素注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	PAC 注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	ソーダ灰注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 YT-200		2 台
	PAC 貯槽 YT-200		2 台
	ソーダ灰貯槽 YT-200 攪拌機付 PG-1		2 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 48KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

## (6)三木浦配水池

公称能力	450 m <sup>3</sup> (貯水量)		
経歴	昭和 55 年度 竣工		
配水池	PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 φ 10.9m×有効 5.2m Ve=450 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	テレメーター・コントロール装置 SAS-10 子局		1 台
	水位計	光ファイバー式投込液面/圧力発信機	1 台
		光ファイバー式電気変換機 PSN	1 台
	流量計		1 台

## (7)三木里浄水場

公称能力	643 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	昭和 53 年度 竣工 平成 15 年度 電気計装盤更新 平成 18 年度 濁度計・残塩計・流量計取付更新 平成 20 年度 非常用発電機取替工事 平成 28 年度 送水ポンプ取替工事		
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ100×0.92 m <sup>3</sup> /min×75m×22kw 1,800rpm(内予備 1 台)		2 台
取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×10m×5.5kw 3,600rpm(内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.85m×L5.85m×有効 2.6m Ve=104 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 24A・kw 力率 90% 従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	水位計	フロート液面発信機	1 台
		現地式水位計	1 台
	流量計	電磁流量計(水中形) φ150mm	1 台
	自動通報装置		1 台
	直流電源装置		1 台
	残留塩素計	ポーログラフィ法 AC100V	1 台
	濁度計	散乱光方式 AC100V	1 台
	サンプリングポンプ	AC100V φ20mm	1 台
	テレメーター	SAS55 子局	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽	ポリエチレン Ve=200ℓ	1 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 74KVA		1 台
	燃料タンク	200ℓ	1 台

## (8)三木里配水池

公称能力	375 m <sup>3</sup> (貯水量)		
経歴	昭和 53 年度 竣工		
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.8×L9.2m×有効 3.0m=187.7 m <sup>3</sup> Ve=187.7 m <sup>3</sup> ×2 池=375 m <sup>3</sup>		2 池
電気設備	投込式 水位計		1 台

## (9)賀田第1(北)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	平成7年度 送水ポンプ改修工事 平成12年度 電気盤更新	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.6m×L4.7m=26.3 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻きタービンポンプ φ100×1.0 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井(井戸)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法φ3.0m×深さ11.5m	1井
契約電力	低圧電力 40A・kw 力率80% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	流量計 電磁式 最大流量1,140 m <sup>3</sup> /h 過度流量11.4 m <sup>3</sup> /h	1台
	積算計	1台
	直流電源装置	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷直列	1台
	燃料タンク 60ℓ	1台
	予備タンク 90ℓ	1台

## (10)賀田第1(南)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	昭和57年度 竣工 平成17年度 送水ポンプ及び濁度計更新工事	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W11.5m×L5m=57.5 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×87m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻きポンプ φ150×2.7 m <sup>3</sup> /min×17m×11kw (内予備1台)	2台
取水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.5 m <sup>3</sup> /min×13m×5.5kw (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.0m×有効2.0m Ve=65 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 35A・kw 力率90% 従量電灯B 15A・kw	
ろ過器	小型凝集沈殿浄化装置 20 m <sup>3</sup> /h	2台
電気設備	濁度測定装置 表面散乱光測定方式	1台
	自動通報装置	1台
	濁度計	1台
	テレメーターSAS55子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1台

## (11)賀田第2加圧ポンプ場

公称能力	1,396 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	平成11年度 ポンプ改修工事 平成17年度 ポンプ改修工事	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L13.5m=182.3 m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ100×0.97 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.4m×L5.4m×有効3.0m Ve=87.5 m <sup>3</sup> ×4池=350 m <sup>3</sup>	4池
契約電力	低圧電力 27A・kw 力率90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	加圧タンク 第二種圧力容器 φ2.7m×L6.5m Ve=37.2 m <sup>3</sup> 最高使用圧 7.1kg/c m <sup>2</sup> 最低使用圧 6.0kg/c m <sup>2</sup>	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
エンジン	ディーゼルエンジン	1台
	燃料タンク 90ℓ	1台

## (12)古江加圧ポンプ場

公称能力	1,008 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	平成14年度 ポンプ改修工事 平成20年度 電気計装盤取替工事	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L6m=81 m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ バランスディスク形 φ80×0.7 m <sup>3</sup> /min×63m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W12m×L6m×有効3.0m Ve=216 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	コンプレッサー 3.7kw オイルフリーベビコン 0.93MPa 850rpm 405ℓ/min	1台
	加圧タンク 圧力容器(横円筒型) φ2.2m×L4.5m Ve=19.3 m <sup>3</sup> 9kg/c m <sup>2</sup> 胴板19mm 鏡板19mm	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
	投込式 水位計	1台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 90ℓ	1台

## (13)賀田配水池

公称能力	247.6 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	平成 18 年度 投込圧力式水位計更新	
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W9m×L5m×有効 2.75m=123.8 m <sup>3</sup> Ve=123.8×2 池=247.6 m <sup>3</sup>	2 池
電気設備	水位計 投込圧力式 DC4~20mA	1 台

## (14)曾根配水池

公称能力	84 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	昭和 29 年度 竣工	
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W7.3m×L6.0m×有効 2.3m=100.7 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	従量電灯 B 10A・kw(配水池施設) 低圧電力 3A・kw 力率 80%(加圧タンク施設)	
電気設備	加圧タンク φ40mm 2.2kw 0.2 m <sup>3</sup> /min タンク容量 0.5 m <sup>3</sup>	1 台
	加圧ポンプ φ40×0.22 m <sup>3</sup> /min×2.2kw ※加圧タンク及び加圧ポンプは配水池とは別の場所に設置	1 台
	流量計 φ80 (量水器)	1 台
	テレメーターSAS15 子局	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=2000	1 台

## (15)梶賀配水池

公称能力	152 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	昭和 35 年度 竣工	
沈殿槽	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W1.2m×L1.0×3.5m	1 池
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.0m×L3.0m×有効 H2.6m Ve=39 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	流量計 φ80 (量水器)	1 台
	テレメーターSAS15 子局	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=2000	1 台

〒519-3671  
三重県尾鷲市矢浜四丁目4番8号  
**尾鷲市水道部**  
電話：0597-23-8271  
FAX：0597-23-8276  
e-mail：suidou@city.owase.lg.jp